

# 緊急注意喚起情報

米づくり技術情報 No. 10

令和3年7月21日

## 斑点米カメムシ類の発生多い！防除対策を徹底！ いもち病も要注意！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

本日、病害虫防除所から「農作物有害動植物発生予察情報 注意報第2号（斑点米カメムシ類）」が発表されました。

斑点米カメムシ類の発生量が多くなっています。また、葉いもちも広く確認されています。防除対策を徹底しましょう！

### 1 斑点米カメムシ類

#### (1) 発生状況

7月後半（7月19～20日）に実施した畦畔・農道等におけるすくい取り調査によると、平均すくい取り虫数は35.5頭（平年：18.6頭）と7月前半の調査から更に多くなっている。

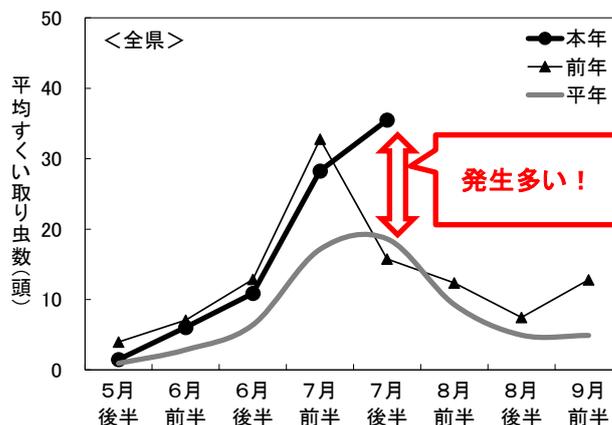


図 畦畔・農道における斑点米カメムシ類の平均すくい取り虫数の推移

#### (2) 防除対策

- ① 畦畔、農道、休耕田等で、まだ雑草が繁茂しているところでは、至急除草対策を行う。
- ② 穂揃期及び穂揃期7日～10日後の2回の基本防除を徹底する。今年は、イネの出穂は早まると予想されるため、出穂状況を確認し、適期に防除する。
- ③ 無人ヘリコプター等による防除を計画しているところでも、防除時期が合わない場合には、個人防除を実施する。
- ④ 出穂前後の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田侵入を促し、斑点米の発生を助長するので、原則行わない。やむを得ず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除計画に合わせて実施する。

## 2 いもち病

### (1) 発生状況

7月後半（7月19～20日）の調査では、葉いもちの発生確認地点率が21.4%（平年：11.7%）、周辺発生ほ場率が10.9%（平年：4.5%）とやや高く、県内で広く発生が確認されている。また、一部では、発病程度の高いほ場も見られる。

### (2) 防除対策

- ① 早急にほ場を見回り、葉いもちの発生が見られるほ場では、治療効果のある薬剤で至急防除を行う。
- ② 穂いもちの防除は、穂孕後期及び穂揃期の2回、適期を逃さず実施する。また、イネの出穂は早まると予想されるため、出穂状況を確認し、適期に防除する。
- ③ 無人ヘリコプター等による防除を計画しているところでも、上位葉に葉いもちが発生しているほ場では、個人防除を実施する。
- ④ 薬剤耐性菌出現防止のため、同一成分の薬剤の連用は避ける。

**農作業事故と熱中症に十分注意してください！**

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

**農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！**

農薬危害防止運動実施中